

アドボカシーの実践

子どもアドボカシーセンターMIE

志治優美

子どもの声を聴く 子どもアドボカシー

子どもが、気持ちや思いを伝えたいとき、
でも、どのように伝えたらいいのかわからないとき、
受け止めてもらえないとき
その子のそばに行き、話を聴き、
その子が伝えたい人に、伝えたい方法で、気持ちや思い
が伝わるよう手伝いをする活動

子どものマイク

子どもの小さな声を大きくする

子どもの言葉をそのままに

足したり引いたりはしません

スイッチのON/OFFは子どもがきめる



アダルティズム

子ども・若者は価値がない、という思想。
子ども・若者の力を信じない、尊重しない。
厳しくしつけて、わからせるしかない。
反対に、やってあげなければ何もできない。
または、放っておいたら大変なことになる。

子どもの声をうばってきた

子どもの
くせに

子どもは
うそをつく

泣いていては
わからない

子どもは
でしゃば
るな

子ども基本法(2023年4月施行)

第3条

3. すべてのこどもについて、自己に直接関係するすべての事項にして意見を表明する機会、及び多様な社会活動に参画する機会が確保されること。

子ども基本法(2023年4月施行)

第3条

4. 全てのこどもについて、その意見が尊重され、
その最善の利益が優先して考慮されること

生徒指導提要(2022年改訂)

「自己存在感の感受」

「共感的な人間関係の育成」

「自己決定の場の提供」

「安全・安心な風土の醸成」

生徒指導提要

1.5 生徒指導の取組上の留意点

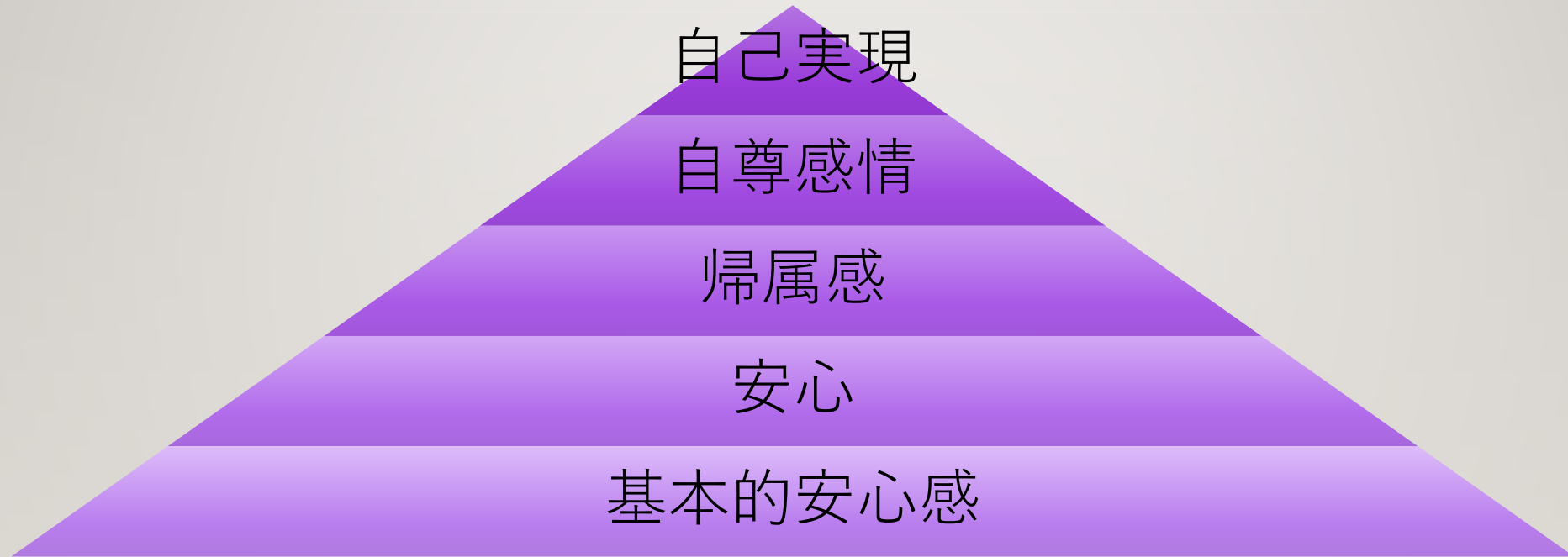
1.5.1 児童生徒の権利の理解

第一の留意点は、教職員の児童の権利に関する条約についての理解です。

子どもの権利条約

- ① 差別の禁止 （第2条）
- ② 児童の最善の利益 （第3条）
- ③ 生命・生存・発達に対する権利 （第6条）
- ④ 意見を表明する権利 （第12条）

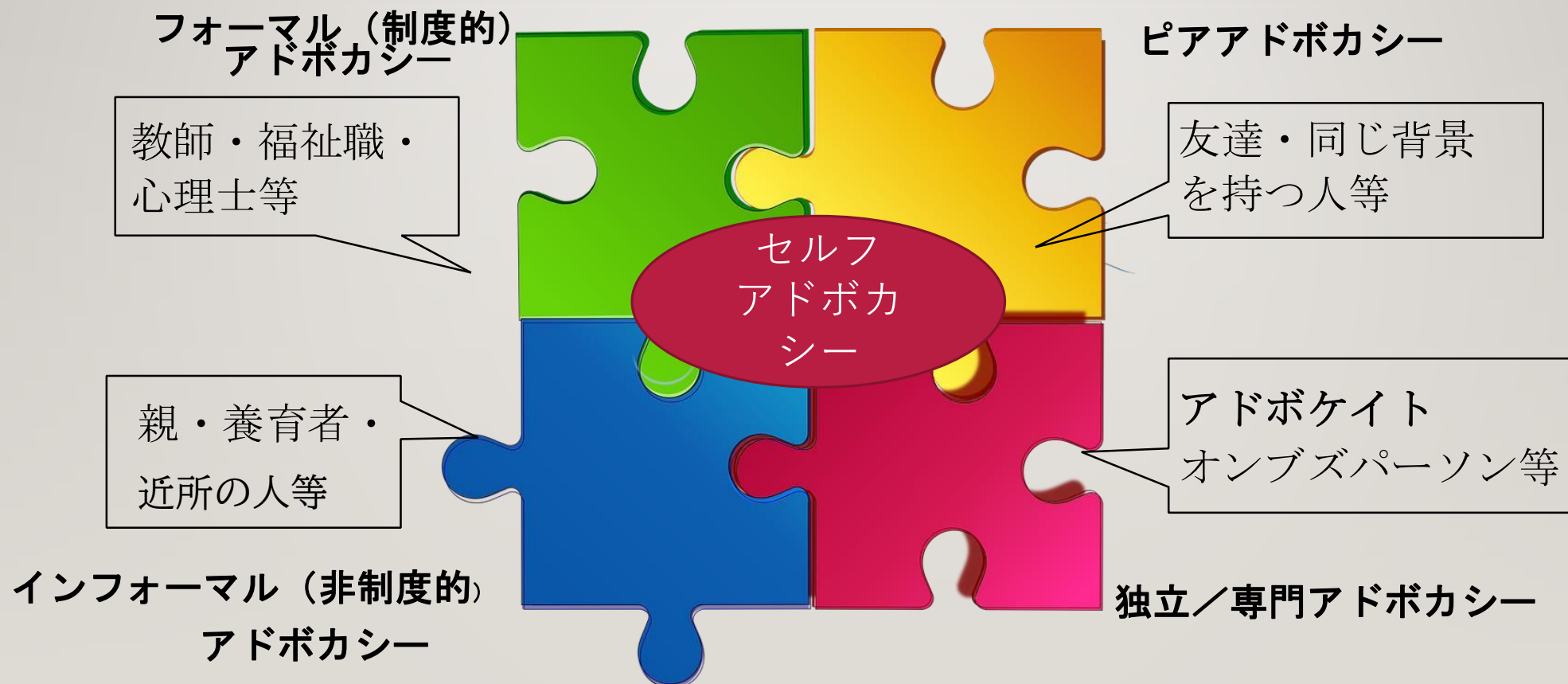
子どもの声を聴くということ



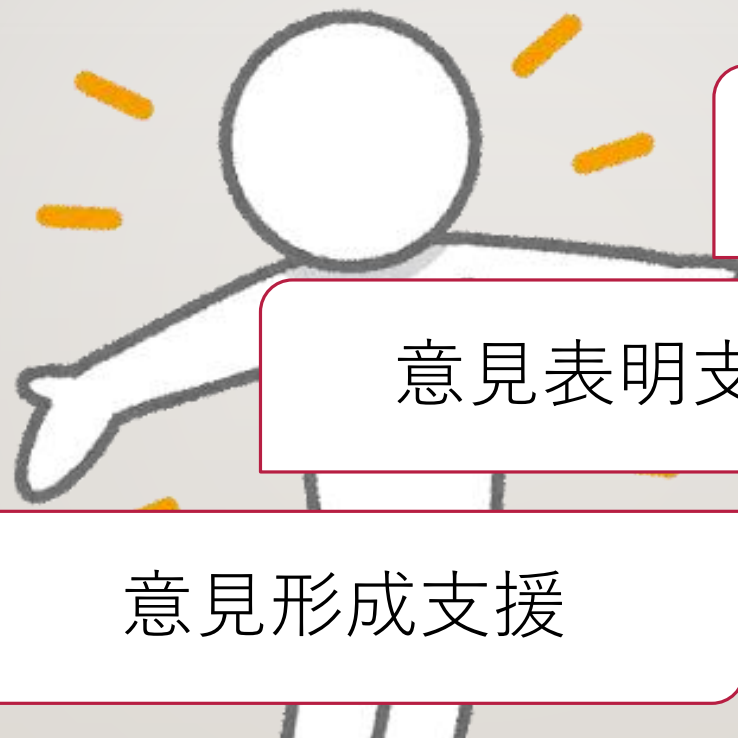
A. マズロー「ニーズの階層理論」

アドボカシーの担い手

アドボカシー・ジグソー(4つの領域)



子どもアドボケイトの役割



意見実現支援

意見表明支援

意見形成支援

意見表出支援

子どもアドボケイトの6原則

- ・子ども主導
- ・平等（公平）
- ・子ども参画
- ・守秘
- ・エンパワメント
- ・独立性

自分の人生の運転手になる



だれもが自分の人生を
主体的生きること
そのためにナビゲーション
します。